

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

提案書	
技術分野	
提案件名	福島第一原発サイト汚染状況可視化エキスパートシステム
提案者	公益社団法人 土木学会
<p>1. 技術等の概要</p> <p>【特徴】 サイト内における、水理地質構造～地下水流動～施設配置～汚染廃棄物保管状況、汚染関連情報、などの情報を一元的にデータベース化し、さらに地下水流動・物質移行（海岸付近での拡散状況も含む）の調査・解析情報も付加して、総合的にサイト内の汚染状況等を可視画像化処理も踏まえて一元的に把握・評価できるようにする。また、各種の対策が講じられる場合の効果の予測などについてもこのシステムによりよりの確に把握し、さらに事後の新たな対策や情報・データ追加により、タイムリーに更新され、その後の対策立案の判断材料として活用が期待される。</p> <p>【仕様】</p> <p>(1) サーバー（大型コンピュータ、あるいはスーパーコンピュータとのリンクも考慮） (2) サブコンピュータシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解析 ・データベース（情報蓄積・検索） ・可視画像化 ・映像化プロジェクター <p>【性能】 短期的には、データベース、解析シミュレーション、可視化技術など、既存技術に基づき、的なものから整備を進め、中長期的には地球シミュレーターのような最新鋭のコンピュータを駆使し、世界に誇る汚染状況把握・監視と対策効果の予測・評価・や効果確認等も一元的に行えるエキスパートシステムの構築を目指す（将来的には、湾内外への拡散等やサイト外の情報も取り入れた広域評価とも連携できるようにし、地域住民などへのより分かり易い情報の発信にも貢献できる。また、国内外への最新情報のタイムリーな提供も可能な、世界的にも最先端のシステムを確立・実用化することを目指す</p> <p>【保有者】 コンピュータ会社、解析ソフトウェア開発会社・研究機関、大学、他</p>	

2. 備考

- (1)本システムは、主に、中長期的な観点から、福島第一原発サイトにおける水理地質構造～施設構造物状況～汚染状況～対策～効果等の予測等の情報を一元的に管理し、汚染状況把握・対策立案等の可視化エキスパートシステムの確立を目指すものであり、現時点での緊急的な対策に向けてすぐに利用を期待するものではないが、並行しての開発・整備を着々と進めていくことにより、将来的に国内外での信頼性確保に役立てることを期す。
- (2)本システムは、現場での汚染状況監視、情報の蓄積・検索というだけでなく、国内外への情報発信、技術者研修、各種コミュニケーションなど幅広い用途での活用が期待される。